

令和5年度 学校評価結果（生徒アンケートより）

アンケートの結果から、以下の点が明らかとなりました。（※は昨年度はなかった項目）

①あてはまる・ややあてはまるの割合が85%以上の項目(11→11)

- 1 学校生活は楽しい
- 2 授業はよくわかる(学校の授業全体・学習内容)
- 3 先生の話をよく聞いている
- 5 尾西第三中学校には良いところがある
- 7 総合的な学習に進んで取り組んだ
- 8 部活動に進んで取り組んだ
- 12 あいさつはしっかりできた
- 13 場に合った言葉遣いができた
- 14 友達や家族を大切にしている
- 15 学習以外でもルールやマナーを守って生活している
- 18 先生はあなたの良いところを認めてくれている(※)

③あてはまる・ややあてはまるの割合が昨年より向上した項目(1→1)
11 家庭で読書をする習慣がある

+3.0%↑の項目

④あてはまる・ややあてはまるの割合が昨年より下がった項目(2→0)

-3.0%↓の項目

②あてはまる・ややあてはまるの割合が60%以下の項目(3→3)

- 11 家庭で読書をする習慣がある
- 16 地域の行事やボランティア活動に進んで参加している
- 17 自分の意見を進んで書き表したり、発表したりした

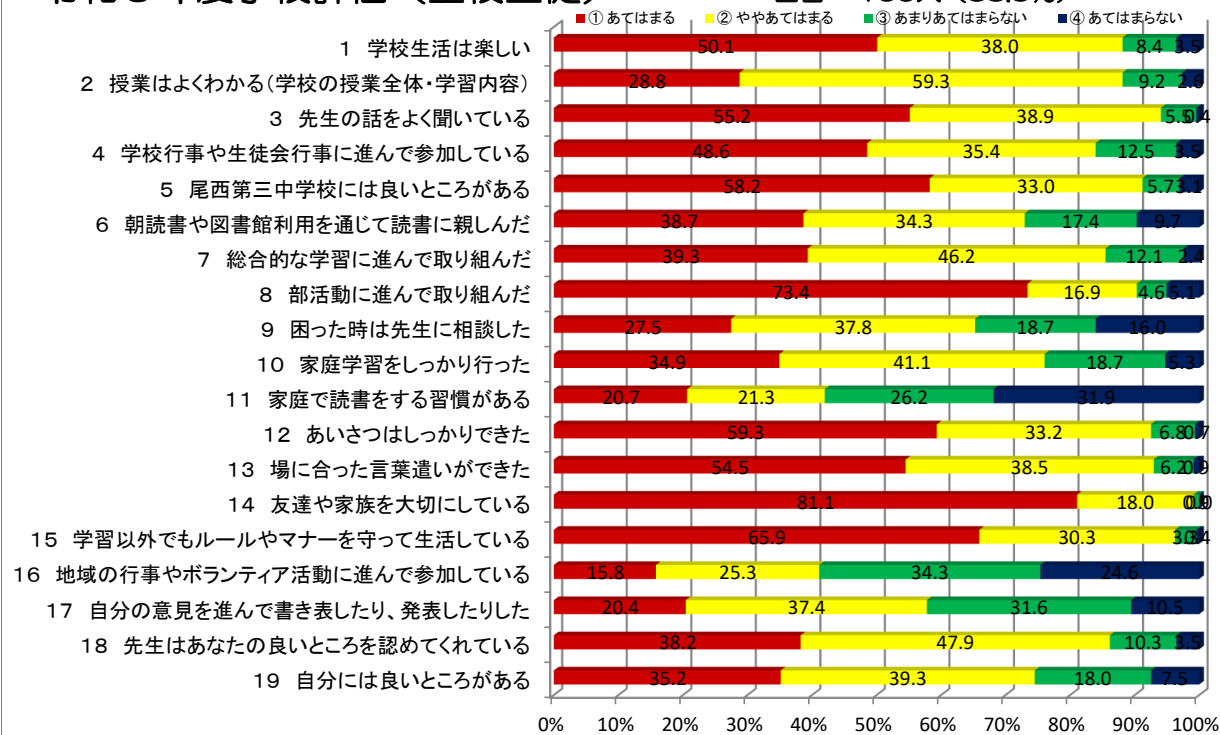
①の85%以上の項目は、19項目のうち11項目が該当しました。そのうち、7項目が90%以上です。最も高い割合となったのは「14 友達や家族を大切にしている」の項目で、99.1%でした。また、「学習以外でもルールやマナーを守って生活している」の項目が2番目に高く、96.3%でした。家族や友だちなど、自分の周囲にいる人との関係を大切に、協調性をもって生活をしようとする様子がうかがえます。今後も、自他ともに尊重する気持ちを維持していくことができるよう、教育活動全体を通して生徒に働きかけていきたいと思えます。

一方で②の60%以下となったのは、昨年度と同じく「11 家庭で読書をする習慣がある」「16 地域の行事やボランティア活動に進んで参加している」「17 自分の意見を進んで書き表したり、発表したりした」の3項目でした。読書や奉仕活動の意義を生徒たちに伝え、家庭や地域と協力しながら、自発的で心豊かな生徒を育成できるようにしていきたいと考えています。

アンケートの結果から、全体的に生徒たちは落ち着いた学校生活を送り、有意義な時間を過ごすことができていることがわかりました。今後も家庭や地域と連携し、より良い学校を築いていくことができるようにしていきたいと思えます。

令和5年度学校評価（全校生徒）

回答：455人（88.3%）



学校運営協議会より

学校全体として落ち着きがあり、生徒が行事に熱心に取り組んでいる様子がうかがえる。また、あいさつ運動を継続して行う中で、地域の方とあいさつだけでなく会話を交わす生徒も少しずつ増えており、とても良いことだと感じている。今後も学校と家庭、地域が連携し、生徒の健やかな成長を促していきたい。

家庭学習については、生徒と保護者の評価にずれが見られる。生徒自身が課題の取り組み方を常に振り返り、力を伸ばす学習につなげられるようにしてほしい。また、読書に関しても、さらに充実したものになるよう、教科の授業や読み聞かせを活用しながら、本に親しむ機会を意図的に設けていく必要がある。